

どの子もお金の心配がない教育保障を！

「学用品無償化条例」を共同で議員提案

板橋区議会
第2回定例会報告



ら憲法二十六
条が定める義
務教育の完全
無償化にむけ
て粘り強く取
り組みます。

石川すみえ区議が本会議（6/23）で討論に立ち「憲法では『義務教育は無償とする』としながら、実際には、保護者負担とされているものがたくさんある。学校給食無償化に続き、教育の無償化を一層進める必要がある」と訴えました。条例案は、区立小・中学校及び特別支援学校に在籍する児童及び生徒が在籍校での教育活動に必要な補助教材等を給付するもので、年間約7億円で実施できます。委員会の質疑でも本会議でも「学用品無償化」そのものを否定する意見はありませんでした。引き続き、他党派にも呼びかけながら憲法二十六

名での共同提案を提出。反対多数で否決になりました（各党の態度は以下の通り）。

教育費無償化をさらに

新の会（2名）と合計8



石川すみえ区議

区議団は当初予算への修正提案に引き続き、区立学校の学用品費無償化を議員提案しました。

今定例会では、日本維

自民・公明・立憲・参政党などが反対

【学用品無償化条例の各会派の態度】

自民	公明	民主	共産	維新	未来	参政	無所属
×	×	×	○	○	○×	×	×

※民主内内の社民議員は退席。未来の2人会派は、賛成と反対に分かれました。

2025年度の所属常任委員会

企画総務委員会	荒川なお
区民環境委員会	山内えり
健康福祉委員会	小林おとみ（副委員長）
都市建設委員会	小柳しげる・いわい桐子
文教児童委員会	石川すみえ



7月8日、区長へ 2025年度予算への緊急要望と2026年度予算に対する重点要望を提出しました。

「消費税減税」「インボイス廃止」を求めて



荒川なお区議

6月23日におこなわれた区議会本会議で、荒川なお区議は、国に

インボイス制度廃止を求める意見書」提出を求める陳情および「国に對して「消費税減税を求める意見書」提出を求める陳情を採択することを求めて討論に立ちました。

消費税は、所得が低い人ほど負担が重くなり、生活に与える影響が大きくなります。だからこそ、フリーランスや個人事業主をはじめ多くの国民への負担軽減につながる5%への減税とインボイス制度の廃止が、今こそ必要です。

陳情に不採択を主張した委員からは「消費税減税による税収減を補うための、赤字国債の発行などにもつながり、日本の国債の信頼を失うような結果になる」との発言がありました。しかし、消費税減税の財源は、国債ではなく、恒久財源をあてるべきです。最も効果的なのは、法人税率の引き上げなど大企業と富裕層への減税・優遇を見直すことです。減税を求める世論が広がる中、自民党・公明党などの多数により2つの陳情は不採択になりました。

日本共産党板橋区議団ニュース

いたばし元気帳

2025年
夏号

●元気帳は無料です。お申込みは、各区議事務所へ

ご意見・ご要望をお寄せください

inf@jcp-itabashi.gr.jp

板橋 日本共産党

検索



発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団
〒173-0004 板橋区板橋2-66-1
Tel 3579-2717 Fax 3579-2731